

## 道労連第 35 回定期大会 現場のパワーを生かして 組織の拡大・強化、要求前進を

8月7日に道労連第35回定期大会が開催され、「現場のパワーは無限大。労働組合で変える！実現する！」のスローガンのもと、組織の拡大・強化、社会的な賃金闘争、差別をなくし人権を守ること、憲法をいかに守るたたかい、市民と野党の共闘を強化・発展させて道政転換をめざすなど新年度の運動方針を決定しました。

大会では新年度役員が選出され、三上友衛議長（再）、中川喜征事務局長（新・福祉保育労）のほか、建交労からは副議長に出口憲次さん（新・前事務局長）と宮澤毅さん（再）、事務局次長に竹田吉宏さん（再）が選ばれました。

## 北海道の最低賃金は時間額 920 円に 中賃「目安」を1円上回る31円の引き上げ

北海道地方最低賃金審議会は8月8日に、今年度の最低賃金について「時間額 920 円」とする答申をおこないました。中央最低賃金審議会が示した「目安」を1円上回る額で、昨年の引き上げ額 28 円を上回る過去最高額となります。これは、これまでの運動と世論の力で勝ちとられた成果ですが、私たちが求めている「全国一律 1,500 円以上」には及ばず、地域間格差をさらに広げるもので、物価の高騰が続く中で不十分な引き上げです。政府の責任で中小企業支援策を強化させるなど、たたかいをさらに強める必要があります。

## 太平洋運輸分会が夏季一時金妥結＝前年同額

釧路地域支部太平洋運輸分会は7月26日に夏季一時金について妥結しました。妥結内容は前年同額の41万円（55歳～59歳は90%、60歳以上は81%）です。

## JR北海道「安全に関する労使合同会議」

JR北海道の第35回安全に関する労使合同会議が8月4日に開催され、建交労北海道鉄道本部から竹田委員長と最上書記長が出席しました。綿貫社長になって初めての会議となり、冒頭の挨拶で引き続き安全対策に全力を注ぐ意気込みを語りました。今回のテーマは、1月13日に深川駅構内で発生した排雪作業時に列車が侵入した事象と2月2日に千歳駅構内でポイント除雪作業中に列車が通過した事象の2つについて経過と対策について報告がありました。これらの事象による人身傷害は発生していませんが、一歩間違えば労災事案となる重大な問題でした。安全第一に作業手順の順守はもとより、大雪により列車が乱れた時の対応など、経験と人手が不足していることが最大の原因であると考えられます。

公共交通を担う鉄道事業者として、JR北海道を取り巻く厳しい情勢のもとでも「人こそ資源」として人材確保・育成を進めるための財源が必要であり喫緊な課題ですから、労使の意見交換を深め政府に対して「今が一緒に声をあげる時」です。